

SCHOOL! YELL!! エール

Vol.2

地域交流と建築技術の習得を目指す!

鹿屋工業高校

けんちくこう

建築部



▲建築部Instagram



▲かぶとの小物



建築部は、建築設計競技大会のほかに、高校生ものづくりコンテストにも参加しています。入賞できるように日々励んでいます。

建築部は、日々建築に関する技術の向上に努めています。昨年の高校生建築設計競技大会では個人賞を多くの部員が受賞できたこともあり、約20年ぶりに学校賞を受賞できました。また、地域イベントに出店し、自分たちで制作した商品の販売やものづくり体験会も実施しています。私たちの目標は地域の皆さんのものづくりに関する困りごとに対応していくことです。それが地域交流や自分たちの技術力向上にもつながると思っています。皆さん、ぜひ建築部にご相談ください。



部長
いまむら 今村 心響 さん(3年生)

公民 地理 歴史 文化 文化財 まちづくり 人物 その他

かのや風土記の中身をさらに深掘り

鹿屋街道

第二路「鹿屋市」の 地形・地質



▲笠野原台地のシラスの崖

鹿屋市の基盤をなす地層は、深海に堆積した四万十層群・高隈山層と日南層群、これらの堆積層に貫入した花崗岩です。これらの古い地層が侵食された地表面を覆う地層は、鹿児島湾の湾口部に位置する阿多カルデラから約11万年前に噴出した「阿多火砕流」と湾奥部に位置する始良カルデラから約3万年前に噴出した「入戸火砕流」の2つの火砕流堆積物です。

阿多火砕流の溶結凝灰岩は、鹿児島湾に面した海岸に露出し、美しい景観をつくりだしています。また、この溶結凝灰岩は最近まで「荒平石」の石材名で採石されていました。南から流れてきた阿多火砕流は高隈山の南斜面を駆け上がり、高須川の上流まで達しています。入戸火砕流は、南九州全域を覆います。鹿屋市の地形は、南部には肝属山地、北部には高隈山地がそびえており、鹿児島湾側にも比較的高い地形が南北に形成されています。その凹地のほとんどはシラス台地が占め、その下には阿多火砕流堆積物が混在しています。シラス台地は、九州南部に数多く分布している火山噴出物からなる台地で、鹿屋、串良、志布志付近に広く分布しています。台地の高さは鹿屋市街地より下流の肝属川沿いが最も低く、南方、西方及び北方に向い緩やかに高度を増し、肝属郡北西部ではかなりの高さに達しています。

シラスは、細粒の軽石や火山灰から形成されています。水の浸食に弱いため、台風や豪雨によって崩壊しやすく、大きな土砂災害を引き起こすことが少なくありません。一方で、鹿屋地区の産物とも言えるシラスを原料とする工業化が進んでおり、硬質レンガ・タイル・人工軽量骨材・ガラス繊維など、多くのものが開発されています。